

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 門司大翔館 高等学校

8

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「自主的精神に満ち、誠実さと努力に裏付けられた実力を尊ぶ、たくましく心豊かな創造者を育成する」 ——一人一人の可能性を最大限に引き出し、誠実さと努力を尊び、地域から愛される人材を育成する学校——</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>GRIT=やり抜く力の育成 正義と責任を重んじ、公共の精神に富んだ、地域に 必要とされる豊かな人間性を有する人材の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>選択制・少人数制講座の設定 幅広い内容科目と体験を重視した講座の開設 希望進路実現のための資格取得に向けた講座の開設 地元企業でのインターンシップの実施など、地域と連携したキャリア教育の推進 SDGs未来都市北九州市との連携による「総合的な探究の時間」の実施 地域との連携とボランティア活動による地域貢献</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>澁刺として礼儀正しく、明るく爽やかな人 自己の将来にビジョンを持ち、その実現のために努力する人 何事も最後まで諦めないでやり遂げようとする人 自主的・意欲的で真摯な態度で学習できる人</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	
<p><成果> 生徒主体の学校行事で、生徒の生き生きとした活動を実施することができた。校則の見直しも生徒とともに進めることで主体性を育てることができた。インスタグラムやWebサイトを日々更新することで本校の教育活動の発信に積極的に努めるとともに、中学生対象とした説明会や体験入学を改善し、積極的な広報活動を行った。また、生徒の自尊感情や自己肯定感の向上を図るために地域活性化事業を継続し、生徒の主体性を育み、新しい取組への挑戦に向けての意識付けには大変効果があった。</p> <p><課題> 生徒の自主性を大切に、達成感や新たなチャレンジ意欲を育む教育活動を展開し、生徒の自己肯定感の育成が必要である。また、遅刻や欠席を繰り返す生徒が一定数存在しており、基本的な生活習慣の確立の徹底を目指す。また、軽率な発言で他人を傷付けることがないよう、規範意識の醸成及び人権教育を充実させることも必要である。特色化選抜入試により定員割れを回避できているが、さらに教育活動の充実を図り、本校の魅力を発信を行い、広報活動の強化をすることが必要である。</p>	<p>新学習指導要領の実施に伴い、評価規準を適切に運用し、カリキュラム・マネジメントの円滑化を図る。</p>	<p>①全職員が「深い学び」「個別最適な学び」の実現に向け、タブレット端末等ICT機器を活用した教育活動全科目で展開する。 ②新学習指導要領実施による評価規準を生徒・保護者に公表し、適切に運用する。</p>
	<p>生徒の考えを生かし、参画意識を高める活動場面を作り、学習効果の最大化を図るカリキュラムマネジメントの確立並びに魅力ある学校生活の実施</p>	<p>①創立20周年記念行事を通して生徒の愛校心を育み、伝統を継承しつつ、主体的に未来を切り拓く人材を育成する。 ②授業法と評価法をリンクさせるとともに、ICT活用を含め、授業の質向上を目標とする研修を年4回以上実施する。 ③学校行事の指導目標を明確に示し、達成状況(生徒満足度90%以上)についてカリキュラム・マネジメントを実施する。 ④課外活動・ボランティア活動を充実させる(部活動加入率80%以上、発表会・地域交流への積極的参加)。</p>
	<p>広報活動の充実と地域と連動した深い学び</p>	<p>①中学校等への広報活動を充実させる(体験入学 年2回、入試説明会 年1回、中学校訪問 年4回以上、SNSによる情報発信)。 ②地域との連携やボランティア活動等による貢献活動を充実させる。 ③未来都市北九州市との連携による「総合的な探究の時間」を実施する。</p>
	<p>生徒の規範意識の醸成及び人権教育の充実により、生徒が安心して学校生活を送れる学校環境づくり</p>	<p>①人権教育に関する講演会及び特設授業を充実させ、生徒の人権感覚を育成する(年6回の講演会・人権授業の実施)。 ②生徒・家庭アンケートにより、いじめの早期発見に努めるとともに、いじめ防止対策を徹底して安全安心な環境を整える。 ③教育活動全体でルール・マナーについて考えさせ、規範意識を醸成する(規範意識育成講座を年4回以上実施する)。</p>

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	観点別評価におけるルーブリックの作成・公表と出席率の向上	各教科と連携し、観点別評価のルーブリックを作成し、公表する。 授業改善や各年次との連携により、出席率98%を目標とする。	授業アンケート	
	希望進路実現に向けた最適な科目履修の実現と選択科目の見直し	希望進路を早期決定することで、最適な科目選択をさせる。 教育課程検討委員会適宜開き、選択科目を設定する。		
	図書館利用の活発化と生徒の読書活動の充実	授業等での図書館利用を促進する。 朝読書の取り組みを通して読書意欲を高める。	図書館アンケート	
	職員研修の充実とICT機器を活用した教育活動の展開	各分掌と連携し、計画的に研修を行う。 ICT支援員の支援をもとにICT機器を活用した教育活動を行う。		
生徒部	創立20周年記念事業を通して愛校心を育む生徒指導の充実	規範意識育成学習を5回計画実施し生徒が自ら律し主体的に行動できる指導を行う。 生徒の考えを活かした行事の計画で参画意識向上に努める。	学校生活アンケート	
	生徒支援のための教育相談の充実	生徒の個別の課題への対応力向上のため職員研修を2回実施する。 年間通したSCによる教育相談とコンサルテーションを充実させる。	いじめアンケート	
進路部	自立した社会人となる基盤づくりとしてのキャリア教育	探究活動を通して視野を広げ、協働する資質・能力を身につけさせる。 活動実績を通して自身を振り返らせ、自分創りを明確化させる。	「総合的な探究の時間」アンケート	
	生徒一人ひとりの希望進路の実現	年次の枠を超えた個別指導の充実を図る。 インターンシップや応募前職場見学を実施し、ミスマッチを防ぐ。	卒業時の進路に関するアンケート	
	他分掌との連携に基づいた基礎学力の定着・向上	スタディサプリや到達度テスト等の有効的に活用する。 放課後や長期休業を活用し、進路実現に向けた学力の育成を図る。	学習到達度アンケート	
総務部	広報活動のさらなる充実	日頃の教育活動をホームページやSNSで発信していく。年間100回以上の更新を目指す。 中学生体験入学、中学校訪問を計画・実施する。(体験入学2回、学校説明会1回、中学校訪問4回以上)	新入生アンケート 体験入学参加者アンケート	
	創立20周年記念行事の成功	入学式、卒業式、PTA総会等の行事の円滑に運営する。 各分掌やPTA・同窓会との連携を図る。		

様式3

人権教育	人権・同和教育特設授業の充実	自らの内面を振り返ることのできる内容とする。	人権教育アンケート	
		事前、事後学習を確実にし、生徒へのフィードバックも行う。		
		当事者の生き方に学ぶ内容とする。		
	修学支援の取り組みの推進	いじめ等の把握を確実にし、解決していく。		
		家庭訪問等を行い、保護者と連携して進める。		
		生徒本人の思いを理解した上で取り組みを進めていく。		
1年次	学習指導：授業を軸とした確かな学力の育成と学習習慣の定着	授業に臨む姿勢や授業の重要性を認識させ、授業へ積極的に参加させる。	授業アンケート・学習時間調査	
		授業規律を確立することで学習環境を整え、学力の育成を進める。		
	進路指導：希望進路実現に向けた意識の定着	進路ガイダンス等で進路決定のための情報を積極的に提供する。	学校満足度調査	
		面談による生徒理解を図り、希望進路実現に向けた指導を行う。		
基本的生活習慣の確立と集団生活の中における人間力の育成	各分掌との連携を取り、遅刻・欠席等の指導を徹底する。	学校満足度調査		
	日々の学校生活の充実を図り、主体性を培う。			
2年次	学習指導：主体的に学ぶ姿勢の定着と確かな学力の育成	授業規律と基本的学習習慣の確立を図る。	授業アンケート・学習時間調査	
		主体的、計画的に学習に取り組む意識を醸成させる。		
	進路指導：将来を見通した進路選択と実現に向けた行動力の育成	面談の時間を確保し、進路決定において、広い視野を持たせる。	学校満足度調査	
		進路決定の為に積極的な情報提供と探究活動の充実を図る。		
生徒指導：帰属意識の醸成と他者と協働できる人間力の育成	「任せる」機会を増やし、主体性を培い、学校生活の充実を図る。	学校満足度調査		
	行事や様々な活動を通し、他者を思いやる行動を培わせる。			
3年次	学習指導：主体的な学習習慣の定着と継続的な努力をする意思の育成	授業規律の確保と、やらされるから自らやる姿勢を育てる。	卒業時の学校満足度調査	
		学習効果を高め、学力を高める環境を整えるため、教員間の連携を密にする。		
	進路指導：自己の進路実現と、将来を見据える行動力の育成	多様な個々の進路目標に対応し、きめ細かい指導をするための教員間の連携を図る。	卒業時の学校満足度調査	
		各種進路活動の時間を通して、自己の将来について真剣に考え、目標とする進路を実現させる。		
生徒指導：主体性と規範意識の向上とともに模範的な姿勢の育成を図る	2年間の指導を土台として、更なる生徒の魅力を引き出す。	卒業時の学校満足度調査		
	各種行事を通して愛校心を養い、創立20周年に相応しい年となるよう指導を図る。			